総合的な学習の時間　年間指導計画（第5学年）

時期	単元名（時数）	単元の目標	育てようとする資質や能力及び態度	単元の構想（内容及び指導の構想）	評価規準（具体的に）	各教科等との関連
4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	伊目地区の環境を見つめよう 【課題作り】 （　8時間） 伊目地区の米作りを体験しよう （12時間） 伊目地区の環境を見つめよう 【調べ活動Ⅰ】 （23時間） 伊目地区の環境を見つめよう 【調べ活動Ⅱ】 【まとめ・発信】 （22時間） 情報教育 （5時間）	米作りや活動や湖岸の清掃などを通して、伊目地区の米作りや環境の現状と問題を理解する。 地域の立場に立って自分たちができることを考えて実践できる。 自分の考えを相手に分かりやすく伝えたりすることができる。 図書や資料や情報機器を使い、目的に合った情報を収集したり、自分の考えを相手に分かる。	・人・もの・ことから問題意識を持ち、調べたい課題を見付けようとする。（課題を見付ける力） ・課題を解決するために見通しをもって活動計画を立てる。（課題を見付ける力） ・身につけた知識や態度、判断力を生活に生かそうとする。（自分の生き方を考える力） ・事前に知りたいことを整理して尋ねる。（情報を収集する力） ・自分との共通点、相違点を知った上で、相手のよさを認めようとする。（まとめる力） ・疑問に思ったりもっと知りたいことを見付けさらに課題を追求しようとする。（課題を見付ける力） ・課題解決に必要な情報かどうか適切に判断する。（情報を収集する力） ・使用目的を考え、必要な情報を選択して集める。（情報を収集する力） ・集めたいものに応じた情報手段を選び、必要な情報を得る。（情報を収集する力） ・課題について明らかになったことを工夫して表現しようとする。（伝える力） ・他の情報と比較しながら人から必要な情報を集める。（情報を収集する力） ・集めた情報の特性に応じて、適切な表やグラフに表す。（まとめる力） ・自分の立場を明らかにして話し合い、意見をまとめる。（まとめる力） ・相手や伝えたい内容に応じて表現の仕方を選択する。（伝える力） ・相手に伝えるために、資料などを提示しながら表す。（伝える力）	○「伊目地区の環境を見つめよう」課題作り（8時間） ・オリエンテーション ・いろいろな視点から、課題作りをする。 ○「伊目地区の米作りを体験しよう」（12時間） ・田植えの体験　2時間 ・稲刈り体験　2時間 ・梱包体験　米販売　4時間 ・米作りをして学んだことを新聞にまとめる。 ○「伊目地区の環境を見つめよう」【調べ活動Ⅰ】 （23時間） ・浜名湖の自然（野鳥、魚など）について ・浜名湖の湖岸のごみについて ・浜名湖の水質について ・伊目地区の環境について「自然」「ごみ」「水質」などのテーマに分かれて、チーム毎に模造紙にまとめる。 ・伊目っ子発表会などで、地域の方や、伊目地区祭り組の方に発表する。 ○「地球の環境を見つめよう」【調べ活動Ⅱ】 【まとめ・発信】 （22時間） ・地球規模で起こっている環境問題について ・学習してきたことをまとめる。 ○情報教育（5時間） ・情報モラルを学習する。 ・写真の取り込み ・調べたことをパソコンを使って新聞にまとめる。 （キューブキッズ）	○伊目地区の環境について考える活動を通して、環境に興味をもち、課題を設定することができる。 ○米作りについて理解を深め、日本や世界の米の種類、祭り、料理などについて調べることができる。 ○様々な人の話を聞いたり、資料を調べたりする中で、課題を解決するために様々な考えを比較したり関連付けたりしながら、より適切な解決策を見出すことができる。 ○友達の考えを聞いたり、本やインターネットなどで調べたりして得た情報の中から優先度の高いものを取捨選択し、まとめることができる。 ○学習の成果や考えを相手に分かりやすく伝えるために適切な表現方法を工夫することができる。 ○伊目地区の環境について調べる活動を通して、世の中には様々な環境問題があることが分かる。	○社会科 「農業の盛んな地域」 ○社会科 「水産業の盛んな地域」 ○国語科 「グラフや表を用いて書こう」 ○算数科 「割合」「帯グラフと円グラフ」 ○国語科 「百年後のふるさとを守る」 ○社会科 「環境を守る人々」